

令和3年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市日川溪谷緑の村				検証日	令和4年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	志村 裕喜		作成者名	金子 猛
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通					
		代表者	代表取締役 原田 孝典					
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1					
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月					
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野3番地					
		設置目的	緑豊かな自然環境の保全及び活用を通じ、広く一般に保健と休養の場を提供するとともに、産業の振興に寄与するため、日川溪谷緑の村を設置する。					
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	5名	開館日時間等	一日使用の場合 9:00~17:30(5月から9月) 9:00~16:30(上記以外) 宿泊使用の場合 13:00~10:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く) 冬季休館:令和3年12月1日~令和4年3月31日まで	
	事業概要	サービス提供の内容						
指定管理業務		(1)緑の村施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2)緑の村施設使用料徴収に関すること。 (3)緑の村施設利用料の徴収事務に関すること。 (4)施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。 (5)その他の日常業務						
	自主事業	(1)イベントの開催 (2)広告・宣伝 (3)自社バスの活用 (4)自社ネットワークの活用 (5)付帯施設の充実						
DO	管理運営コスト推移(千円)		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	0	0	0			
		事業収入(食堂・BBQ)	12,480	13,692	13,080			
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,820	5,095	5,930			
		その他収入	200	75	82			
		管理運営経費	19,289	18,779	19,023			
	決算	指定管理料	0	0	0			
		事業収入(食堂・BBQ)	13,136	6,642	12,324			
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,052	3,963	7,212			
		その他収入	67	1,639	1,086			
管理運営経費		16,444	19,278	23,241				
収支	1,812	-7,034	-2,619					
減収補填			877					
施設の稼動状況		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	10,005	5,818	7,747				
活動結果		年度当初よりコロナ禍の影響により、国内全体が自粛ムードにある中、グリーンゾーン施設認証を受けまん延防止に対する諸施策を講じ、来店時のリスク軽減に努めたが黒字確保にはいたらなかった。						
CHECK	評価観点		評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1)事業の運営		3	・協定書通りに適正に管理運営がされている。 ・自社ネットワーク、路線バス、県内外の各事業所を使用し宣伝を行ったり、温泉施設と連携した宣伝等もしている。 ・「天目庵」の階下を整備し売店を新装した。地場の特産品の取り扱いを開始し商品の充実を図り顧客満足度の向上に努めている。				
	(2)施設の維持管理		3	・日常点検、法定点検と着実に実施した。 ・定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。 ・コロナ感染予防に取り組んでいる。				
	(3)収入支出		2	・昨年度は「天目庵」階下の売店改修工事の大幅な支出があったが、今年度もその金額を上回る支出があった。コロナ禍の中で来客数及び売り上げは伸びている。売店の効果もあった。支出面では売店やバーベキュー食材等の仕入代や、冬季の休業期間中の人件費のためかかっている。				
	(4)総合評価			総合評価の説明(施設所管課による一次評価)				
優良 良好 妥当 要改善 不適		要改善	・売店およびバーベキュー施設の改修工事を実施して、施設利用者の利便性を図るとともに、清潔感のある施設に努めている。					
ACTION	評価結果に対する今後の対応							
	当面の課題	・新型コロナウイルスの猛威により緊急事態宣言が発令され、安定した利用者の確保が難しい状況であるが、売り上げを増加させるための計画などを積極的に考えていく。						
課題解決への対応	・若い世代にコテージ(宿泊)も利用してもらえるように、休業期間中にも職員を常駐させて施設整備(敷地内の工事)等の心がけている。 ・今年度冬季に沢から引いている生活用水の水中ポンプが故障したが、常駐職員により故障を早期に発見され、年度内に取替工事を終えることができた。施設の管理に注意を図る。							
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)								
<p>・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。</p> <p>・令和2年度に行った、事務所とバーベキュー施設の改修工事により、利用者の利便性の向上が図られ、清潔感のある施設になったことや、自社のホームページ、自社路線バスを活用したPR活動等を積極的に実施しており、昨年度より利用者数が増加し、運営努力を行っていることが分かる。利用者の増加に伴い、事業収入の増加も見えてくる。</p> <p>・引き続き、経費削減を図りつつ集客に向けた積極的なPR活動を行っていただきたい。</p>								